

国立台中科技大学広島平和学習プログラム

1 目的

広島への人類史上初めて原爆が投下されてから77年が経過した今もなお数多くの核兵器が地球上に存在している。広島悲劇を繰り返さないためにも、次代を担う若者に被爆の実相、戦争の悲惨さ、核兵器の非人道性及び平和の尊さを学ぶ機会を与えることを通じて核兵器の廃絶及び世界平和の実現に貢献する人材を育成することが大変重要である。

このプログラムでは、広島平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館及び平和記念公園を視察し、被爆の実相に触れ、核兵器の脅威及び非人道性を学ぶとともに、被爆者による体験講話の聴講や被爆体験記・原爆詩の朗読を通じて被爆者の「被爆者の他の誰にもこのような思いをさせてはならない。」という思いを理解し、核兵器のない平和な国際社会の実現について考える機会を学生に提供するものである。

また、学術研究者等の講義を通じて、核兵器の廃絶や世界恒久平和の実現に向けた取組や国連、国家、都市、市民の役割などについて考察する。

このプログラムは、広島市立大学の協力を得て毎年1回実施するものである。

2 プログラム内容

- (1) 広島平和記念資料館視察
- (2) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館視察
- (3) 平和記念公園視察
- (4) 被爆体験講話の聴講
- (5) 被爆体験記・原爆詩朗読会への参加
- (6) 学術研究者等による講義の聴講、ディスカッション